

TM-2655/P/VP **AKT/O**

アクティオ

全自動血圧計

取扱説明書



AD 株式会社 **エー・アンド・デイ**

注意事項の表記方法



警告

「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。



注意

「取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合」について記述します。

お知らせ

「取扱いを誤りやすい場合」や「本機を使用するときの一般的なアドバイス」について記述しています。

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、お買い求めの販売店または最寄りのエー・アンド・デイへご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2000 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

1. 概要.....	2
2. 特徴・仕様.....	2
2-1 特徴.....	2
2-2 仕様.....	2
2-3 外形寸法.....	3
3. 注意事項.....	4
4. 各部の名称.....	5
5. 設置の方法.....	6
6. 基本的な操作.....	7
7. 時計の設定.....	8
8. プリンタ用紙の装着方法 (TM-2655P/VPのみ).....	9
9. 機能の変更.....	10
9-1 音声出力の選択 (TM-2655VPのみ).....	11
9-2 印字の選択 (TM-2655P/VPのみ).....	11
9-3 ビットパターン印字 (TM-2655P/VPのみ).....	13
9-4 表示の設定.....	14
9-5 外部拡張端子の設定.....	14
9-6 加圧値の設定.....	14
9-7 通信速度設定 (チャンネル1).....	14
9-8 通信速度設定 (チャンネル2).....	15
10. 通信仕様.....	16
10-1 接続.....	16
11. 保守点検.....	19
11-1 腕帯カバーの交換.....	19
11-2 測定回数の確認.....	20
11-3 エラーコード.....	20
11-4 サービスを依頼する前に.....	21
11-5 アフターサービス.....	22

1. 概要

このたびはA & Dの自動腕帯血圧計をお買い上げくださり誠にありがとうございます。この血圧計を十分活用していただくためご使用前にかならずこの取扱説明書をお読みください。血圧は、循環器系のバイタルサインの中で最も基本的なものの一つとして評価されてきました。特に、高血圧の管理は脳卒中や心臓病などの成人病予防の重要な要因となっています。こうした環境の中、若い人からお年寄りまで、容易に精度良く測定できる血圧計が望まれていました。しかし、正確な測定をする為に必要な腕帯の巻き方、排気速度の調整などは人の多様な体形に依存しているため実現するのは容易ではありませんでした。こうした点を解決したのが全自動血圧計TM-2655シリーズです。この血圧計により誰でも簡単に血圧測定が可能となりました。TM-2655シリーズは、病院の各科外来での血圧測定、スポーツ施設などでのメディカルチェック、事業所等での定期検診、薬局・薬店の店頭でのお客様へのサービス等幅広く用いることができます。

2. 特徴・仕様

2-1 特徴

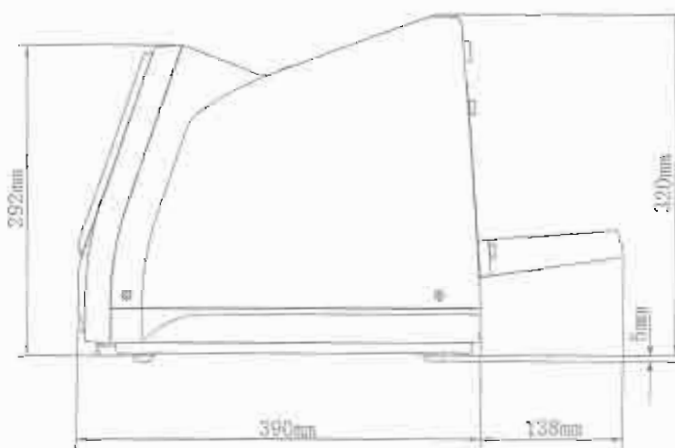
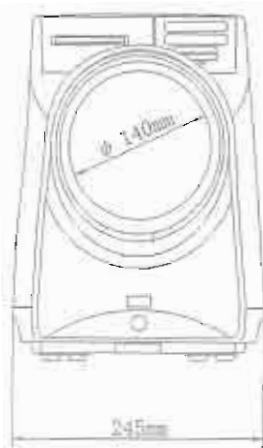
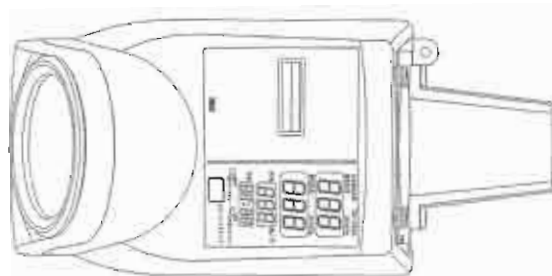
- 本器は、使用目的に合わせて3つのタイプが用意されています。
ベーシックタイプ・TM-2655、プリンタ内蔵タイプ・TM-2655P、プリンタ及び音声内蔵タイプ・TM-2655VP
- わずらわしい操作は必要なく、ワンタッチ（[スタート/ストップ]スイッチを押すだけ）で腕帯を巻き、測定できます。
- 人間工学に基づく測定姿勢にフィットしたデザインです。
- 腕帯への加圧値と減圧速度の補正機能付きです。
- TM-2655P/2655VPの場合
健康管理に役立つプリント出力が用意されています。
プリント出力には、最高血圧、最低血圧、脈拍、コメント文、脈レベルグラフ、測定結果のテーブル印字などがあります。

2-2 仕様

測定方式	オシロメトリック法		
表示範囲	圧力 0~300mmHg	脈拍	30~200拍/分
精度	圧力 ±4mmHg	脈拍	±5%
表示方法	測定結果等	3桁数字表示	LED
	その他	LEDランプ	
時計機能	時刻表示	時・分	自動カレンダー機能付き
カウンタ機能	測定回数表示	999999回	
プリンタ	サーマルプリント方式	紙幅	58mm

腕帯部	ギヤードモータによる巻き付け機構
加圧	エアポンプによる自動加圧
減圧	メカ排気弁による自動減圧方式
排気	電磁弁による自動急速排気
出力端子	RS-232C準拠
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約40VA
使用温湿度	+10℃～+40℃ 30～85%RH以下
保存温湿度	-20℃～+60℃ 10～95%RH以下
外形寸法	245 (W) × 320 (H) × 390 (D) mm
重量	約9kg
医療用具承認番号	21100BZZ00541000
型式承認番号	第Q9920号

2-3 外形寸法



3. 注意事項

機器を正しく、安全にご使用いただくために、以下の各項を熟読した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取扱いの他に、被測定者の安全についての一般的な事項をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載してありますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所については、次の点に注意してください。
 - ① 水のかからない場所。
 - ② 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所および塩分、硫黄分などを含んだ空気にさらされない場所。
 - ③ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。
 - ④ 化学薬品の保管場所やガスの発生しない場所。
 - ⑤ 機器の消費電力（周波数、電圧、電流）が充分供給できる医用（3P）壁面コンセントが用意されている場所。
2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。
 - ① 機器が安全かつ正確に作動すること。
 - ② すべてのケーブルが正確でかつ完全に接続されていること。
3. 機器の使用中は次の点に注意してください。
 - ① 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視してください。
 - ② 機器および被測定者に異常が発見された場合には、機器の作動を止めるなど適切な措置を講じてください。
4. 機器の使用後は次の点を確認してください。
 - ① 定められた手順により操作スイッチなどを使用前の状態に戻した後、電源を切ってください。
 - ② ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜くなど無理な力をかけないでください。
 - ③ 付属品、ケーブルなどは整理して保管してください。
 - ④ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清潔にしておいてください。
5. 機器が異常なときは、次のように処置をしてください。
 - ① 被測定者から本器を取り外して、安全を確保してください。
 - ② 機器の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
 - ③ 機器に、「故障」「使用禁止」などの表示を行い、速やかに販売店までご連絡ください。
6. 機器を勝手に分解したり、改造しないでください。
7. 保守点検については次の点に注意してください。
 - ① 機器は必ず定期点検を受けてください。
 - ② しばらく使用しなかった後再使用するときは、使用前に機器が正常にかつ安全に作動することを必ず確認してください。

(1)

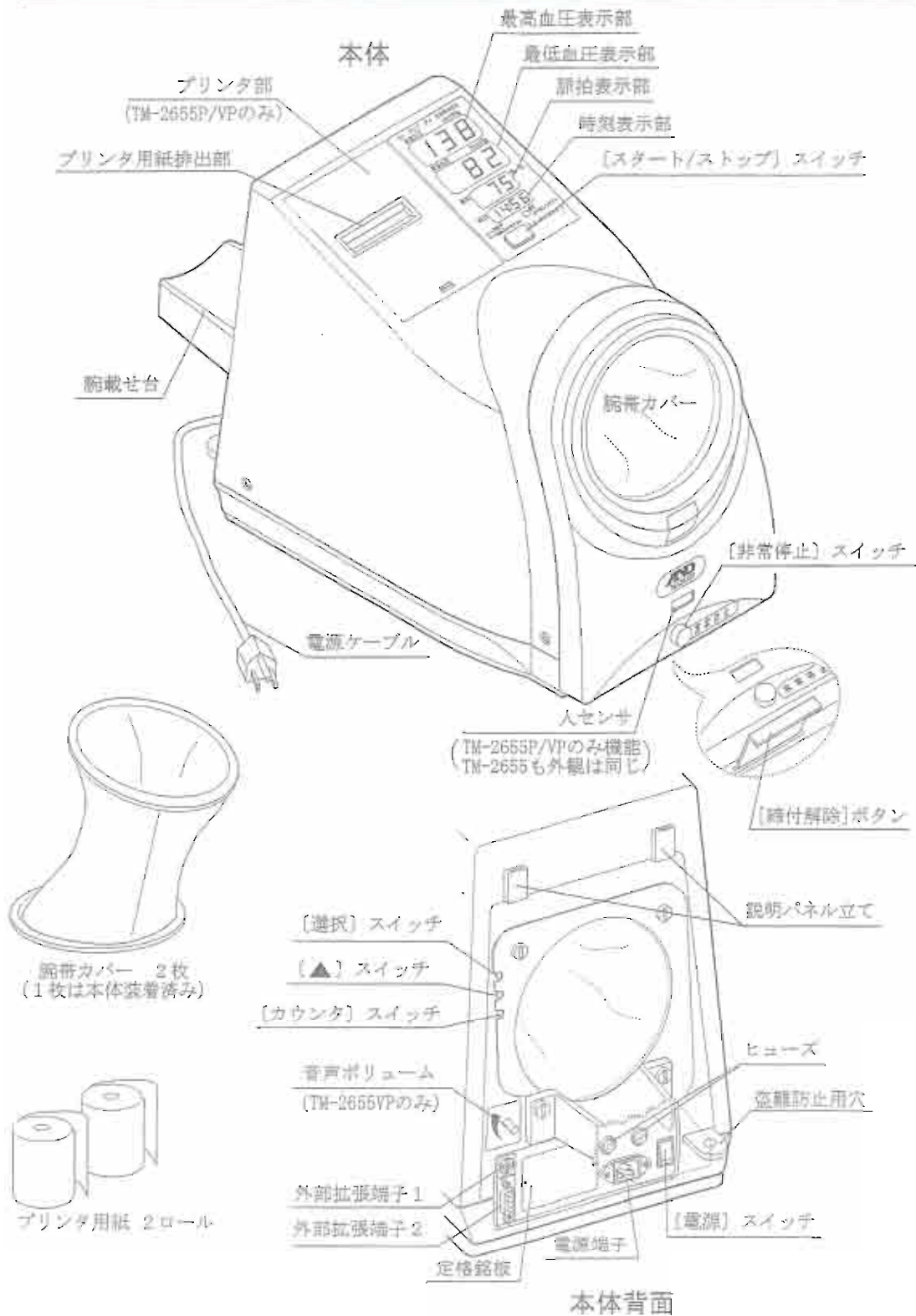
(2)

(3)

(4)

◎ 24
株式会社

4. 各部の名称

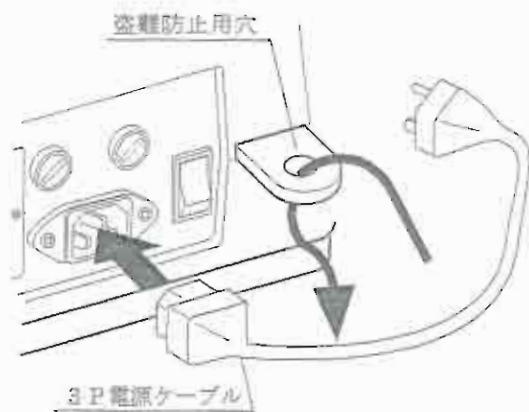


5. 設置の方法

本器を設置するとき、前記の「3. 注意事項」を考慮してください。

本器を台の上に置き、測定に適した姿勢で測定できるようにしてください。測定に適した姿勢とは心臓の高さと肘部部分の高さが同じになり、リラックスして測定できる姿勢です。

本器は付属されている3P電源ケーブルを使い接地をしてください。また、防犯のため盗難防止用穴をチェーン等で台とつなぐことをおすすめします。



(1)

(2)

(3)

(4)

©
株式会社

6. 基本的な操作

準備

- ① 電源ケーブルをコンセントに差し込み電源スイッチをいれてください。全てのLEDが数秒間点灯し血圧測定が可能となります。このとき最高血圧表示部は“0”を表示します。(TM-2655P/VPは人センサを内蔵していますので、約3分経過して、人を検知しなかった場合、最高血圧表示部に“.”のみを表示し、再び人を検知すると最高血圧表示部に“0”を表示します。)



血圧測定

- ① 腕を腕挿入口より肩口まで入れてください。(腕部分の服が厚い場合は、測定誤差の原因になることがあります。服を脱いで測定誤差が起きないようにしてください。)
- ② 【スタート/ストップ】スイッチを押してください。血圧測定を開始します。
- ③ 腕帯が自動的に巻き付きます。
- ④ 設定した圧力まで加圧します。(「9-6 加圧値の設定」を参照)
- ⑤ 加圧後、自動排気を開始して減圧しながら測定します、リラックスして動かないでください。
- ⑥ 測定終了後、腕帯に残った空気を自動的に排気し、腕帯が元に戻ります。
- ⑦ 測定結果が表示されます。
- ⑧ プリント用紙に測定結果が印字されます。ただし、TM-2655P/VPのみ(「9-2 印字の選択」を参照)



測定結果



△ 注意

- ・血圧測定を途中で中止したい場合は、【スタート/ストップ】スイッチを押してください。急速排気して腕帯が元に戻ります。
- ・【スタート/ストップ】スイッチを押しても排気がされない場合は、【非常停止】スイッチを押してください。
- ・停電などで腕が抜けられない時は、本体正面の下の【締付解除】ボタンを押してください。クラッチが外れ、腕を抜くことができます。



TM-2655P/VPのみ

7. 時計の設定

日付・時刻の調整は、「時計の調整モード」で行います。「時計の調整モード」に入りますと、表示部が下図のようになります。



次のスイッチを使用して調整してください。

【選択】スイッチ……(1)「時計の調整モード」に入るときに押します。

(2)「時計の調整モード」では、調整する表示を選択します。押す毎に点滅表示が「年」→「月」→「日」→「時」→「分」→「年」→…と移り変わります。(選択されている表示が点滅)

(3)「時計の調整モード」から出るときに押し、通常の状態に戻ります。

【▲】スイッチ……(2)で選択されている数字(点滅表示)を変更するスイッチです。

調整例 2001年4月20日14時07分に合わせる例です。

- ① 【選択】スイッチを押して最高血圧表示部を点滅させます。
- ② 【▲】スイッチを押して“00”を表示させます。(2001年)
- ③ 【選択】スイッチを1回押し最低血圧表示部を点滅させます。
- ④ 【▲】スイッチを押して“4”を表示させます。(4月)
- ⑤ 【選択】スイッチを1回押し脈拍表示部を点滅させます。
- ⑥ 【▲】スイッチを押して“20”を表示させます。(20日)
- ⑦ 【選択】スイッチを1回押し時計表示部の時間を点滅させます。
- ⑧ 【▲】スイッチを押して“14”を表示させます。(14時)
- ⑨ 【選択】スイッチを1回押し時計表示部の分を点滅させます。
- ⑩ 【▲】スイッチを押して“07”を表示させます。(07分)
- ⑪ 【選択】スイッチを1回押しして通常の測定に戻ります。

※調整途中で何も操作しない場合、分設定時は約1分、その他の設定時は約5秒でその時点で変更したところまでを自動的に設定し測定モードに戻ります。

※日付は2091年12月31日まで対応しています。

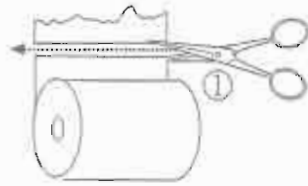
(1)
(2)
(3)
(4)

26
株式会社

8. プリンタ用紙の装着方法 (TM-2655P/VPのみ)

※電源を入れた状態で行ってください。

- ① プリンタ用紙をプリンタに通したとき詰まらないように紙の先端をはさみで切って揃えます。(先端が揃っていないと紙詰まりやプリンタヘッドを痛める原因になりますので必ず行ってください。)



- ② プリンタカバーの中央手前を軽く押してください。カバーが開きます。

- ③ プリンタ右側にあるレバーを上げて、挿入口からプリンタ用紙を筒のように入れてください。自動的に紙送りします。

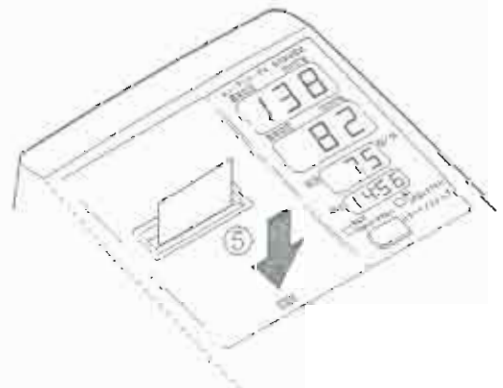
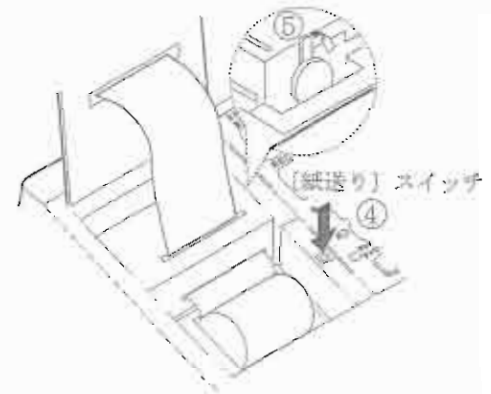
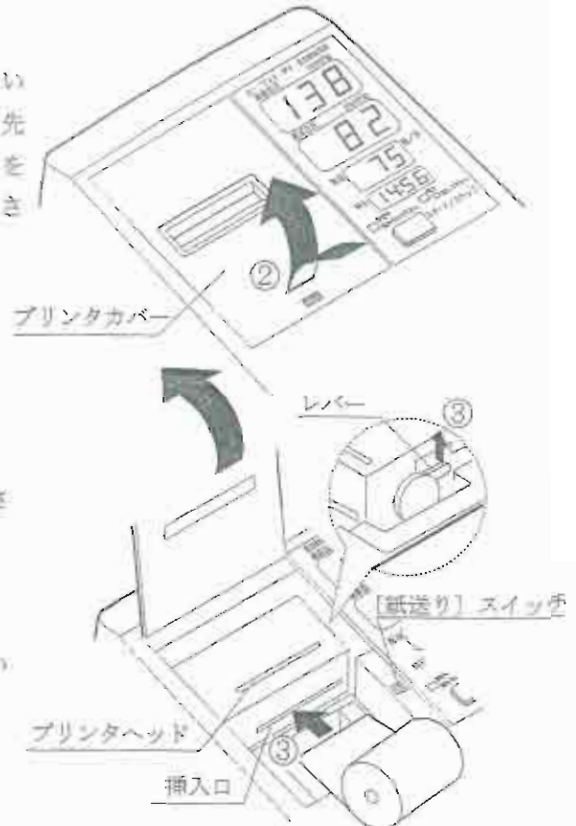
- ④ 紙送りスイッチを押して10cm程度紙送りし、紙が斜めに入っていないか確認してください。紙が斜めになっていると紙詰まりの原因になります。もし、斜めに入っているときは、再度紙を入れ直してください。

- ⑤ レバーを倒し、再度紙送りすると自動的に紙がカットされます。カバーを閉じてください。カバーの中央手前を軽く押すとカバーが固定します。

※高速印字で約700回、3行印字で約600回印字できます。

※プリンタ用紙の端が赤くなったら用紙の交換をしてください。

※プリンタ用紙は専用の感熱紙(別売)をご使用ください。

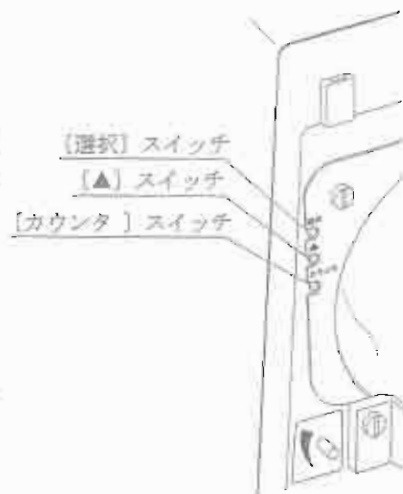


9. 機能の変更

本器は、ファンクションの設定によりさまざまな使用目的に適応できるようになっています。各種設定を行う場合は、血圧測定を行っていないときに本体リアパネルのプッシュスイッチでファンクションの設定を変更してください。

設定方法

- ① [▲] スイッチを押しながら [選択] スイッチを押すと最高血圧表示部に “ F01 ” と表示されファンクションモードに入ります。
- ② [カウンタ] スイッチを押す毎に設定項目が、 “ F02 ” → “ F03 ” → … と変更されます。
- ③ 各項目においては [▲] スイッチで変更できます。
- ④ 設定変更が終了したら1度電源を切って再度電源を入れてください。



設定項目	内容	最高血圧表示部	最低血圧表示部	機能	参照項
F01	音声設定	F01	oFF	音声無し	9-1
			1	測定手順のみ発声	
			2	測定手順、測定結果を発声	
F02	印字設定	F02	oFF	印字しない	9-2
			1	高速印字	
			2	3行印字	
			3	コメント印字	
			4	グラフ印字	
			5	テーブル印字	
			6	高速WHO分類印字	
7	3行WHO分類印字				
F03		F03	oFF/on	ビットパターン印字	9-3
F04	表示時間	F04	999, 5, 10, 20	測定結果表示時間 (秒)	9-4
F05	外部接続	F05	1	外部拡張端子 1, 2ともPC接続	9-5
			2	外部拡張端子 1=PC 外部拡張端子 2=「ドリーナ」等	
			3	外部拡張端子 1=体重計等 外部拡張端子 2=PC	
F06	加圧値	F06	80, 160, 180, 200	加圧値の設定 (mmHg)	9-6
F07	通信速度	F07	120, 240, 480, 960	チャンネル1の通信速度設定	9-7
F08		120, 240, 480, 960	チャンネル2の通信速度設定	9-8	
F09	-	F09	HS	変更はできません。	-
F10	人検知	F10	oFF/on	人検知をしない/する	-
F11	自動外部出力	F11	oFF/on	測定値を自動的に外部出力しない/する	-

- (1)
- (2)
- (3)

- (4)

9-1 音声出力の選択 (TM-2655VPのみ)

ファンクションモード「F01」にて音声出力の設定ができます。[▲]スイッチで変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	音声設定	初期設定値
OFF	音声無し	1
1	測定手順のみ発声	
2	測定手順、測定結果を発声	

※TM-2655/Pで設定しても音声は出ません。

(音声の種類)

- ・測定開始 ([スタート]スイッチON時)
 - “測定を開始します”
- ・測定中
 - “只今、測定中です”
 - “腕は動かさないでください”
- ・測定終了時
 - “あなたの血圧は最高〇〇最低〇〇脈拍〇〇です” (F01=2の時のみです)
- ・再測定時
 - “もう一度測定します”
 - “そのままの姿勢でいてください”
- ・測定不能時
 - “測定できません”
 - “もう一度測定してください”

9-2 印字の選択 (TM-2655P/VPのみ)

ファンクションモード「F02」にて印字の設定ができます。[▲]スイッチで変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	印字設定	初期設定値
OFF	印字しない	1
1	高速印字	
2	3行印字	
3	コメント印字	
4	グラフ印字	
5	テーブル印字	
6	高速WHO分類印字	
7	3行WHO分類印字	

※TM-2655で設定しても印字しません。

印字サンプル

高速印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 最低血圧 脈拍数
110 75 80
 [mmHg] [bpm]

3行印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 **111** mmHg
 最低血圧 **76** mmHg
 脈拍数 **79** bpm

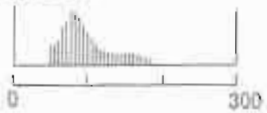
コメント印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 **111** mmHg
 最低血圧 **75** mmHg
 脈拍数 **79** bpm
 血圧は、常に変動していま
 す。定期的に測定して記録
 しましょう。自分で判断せ
 ず医師と相談しましょう。

高速WHO分類印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 最低血圧 脈拍数
149 96 80
 [mmHg] [bpm]
 あなたの血圧値は、
 [グレード1高血圧]です。
 (WHO:1999)

グラフ印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 **110** mmHg
 最低血圧 **77** mmHg
 脈拍数 **80** bpm
 脈動の変化

 血圧は、常に変動していま
 す。定期的に測定して記録
 しましょう。自分で判断せ
 ず医師と相談しましょう。

テーブル印字

2000/ 3/ 8 10:38
 [mmHg] [bpm]

No.	TIME	SYS	DIA	PUL
00001	13:25	109	74	80
00002	13:26	111	75	80
00003	13:27	113	75	79
00004	13:28	113	76	79
00005	13:29	110	76	80
00006	13:30	110	76	79

3行WHO分類印字

2000/ 3/ 8 10:38
 最高血圧 **111** mmHg
 最低血圧 **78** mmHg
 脈拍数 **79** bpm
 あなたの血圧値は、
 [至適血圧]です。
 (WHO:1999)

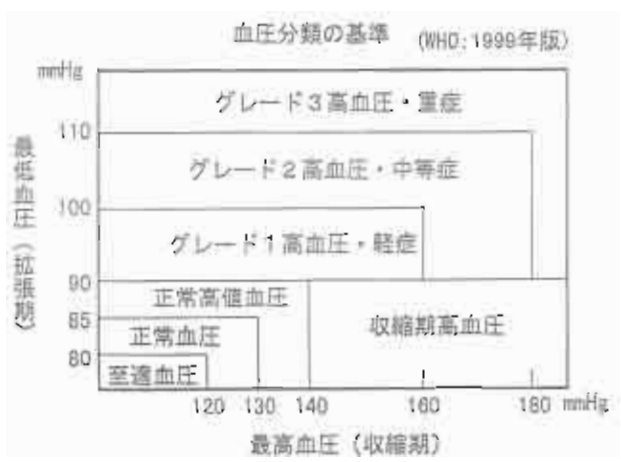
(1)
(2)
(3)

(4)

© 3
株式会社

※WHO分類印字は、1999年版・WHO血圧分類の基準を用いています。

010



9-3 ビットパターン印字 (TM-2655P/VPのみ)

血圧値印字の後に社名等の印字ができます。
 方法については、販売店までお問い合わせください。
 ※ 制作には別途費用が必要となります。
 ※ 特殊文字及びデザイン等は制作できない場合があります。

印字サンプル

最低血圧表示部	ビットパターンの印字設定	初期設定
OFF	ビットパターンを印字しない	OFF
ON	ビットパターンを印字する	

2000/ 3/ 8 10:38

最高血圧 最低血圧 脈拍数
110 75 80
 [mmHg] [bpm]

AND 株式会社

9-4 表示の設定

ファンクションモード「F04」にて測定結果の表示時間が設定できます。[▲] スイッチでしてください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	表示時間	初期設定値
999	表示したまま	5
5	5秒	
10	10秒	
20	20秒	

9-5 外部拡張端子の設定

ファンクションモード「F05」にて以下の組み合わせが可能です。[▲] スイッチで変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	外部拡張端子1 (ミニDIN)	外部拡張端子2 (D-sub)	初期設定値
1	パソコン (コマド)	パソコン (コマド)	1
2	パソコン (ID付きデカ)	カードリーダー等	
3	体重計・身長体重計等	パソコン (コマド)	

9-6 加圧値の設定

ファンクションモード「F06」にて加圧値が設定できます。[▲] スイッチで変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。(自動加圧 (R_L) に設定をすると、加圧中に脈波監視する事で自動的に加圧値が決まります。)

最低血圧表示部	加圧値	初期設定値
R _L	自動加圧	R _L
160	160mmHg	
180	180mmHg	
200	200mmHg	

9-7 通信速度設定 (チャンネル1)

ファンクションモード「F07」にてチャンネル1の通信速度が設定できます。[▲] スイッチ変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	通信速度	初期設定値
120	1200bps	240
240	2400bps	
480	4800bps	
960	9600bps	

- (1)
- (2)
- (3)
- (4)

9-8 通信速度設定 (チャンネル2)

ファンクションモード「F08」にてチャンネル2の通信速度が設定できます。[▲] スイッチで変更してください。最低血圧表示部に設定項目が表示されます。

最低血圧表示部	通信速度	初期設定値
120	1200bps	240
240	2400bps	
480	4800bps	
960	9600bps	

※カードリーダー、体重計等の接続について詳しくはお近くの販売店までご相談ください。

10. 通信仕様

本器には、RS-232Cが2チャンネル装備されています。

各チャンネルは、フアンクション設定「F05」により、組み合わせが可能です。

また、各通信速度は、「F07」（チャンネル1：ミニDIN）「F08」（チャンネル2：D-sub）で各々設定可能です。（「9. 機能の変更」を参照。）

10-1 接続

チャンネル1：ミニDIN8ピン

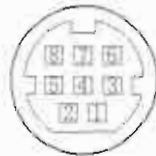
主力規格	EIA RS-232Cに準ずる。
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）
信号速度	1200, 2400, 4800, 9600bps（F07により変更可）
データビット長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
使用コード	ASCII

1) 接続相手は

① 体重計、全自動身長体重計（弊社の体重計、全自動身長体重計のみ接続可能です。詳しくは、販売店までお問い合わせください。）

② PC（パーソナルコンピュータ）

2) ピン配置



ピン番号	内容	機能
1	TxD	データ出力
2	RxD	データ入力
3	RtS	送信要求
4	—	接続不可
5	CtS	送信可
6	GND	送信グラウンド
7	—	接続不可
8	—	接続不可

※ピン番号4、7、8は、血圧計で特別に使用していますので接続しないでください。

PCと接続時のケーブル仕様



チャンネル2 : D-sub 9ピン

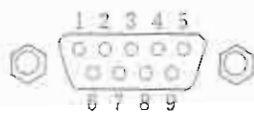
通信仕様

出力規格	EIA RS-232Cに準ずる。
伝送形式	調歩同期式 (半二重方式)
信号速度	1200、2400、4800、9600bps 接続先によって変更 (F08により変更可)
データビット長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
使用コード	ASCII

1) 接続相手は

- ① PC
- ② カードリーダー (詳しくは、販売店までお問い合わせください。)

2) ピン接続



ピン番号	内容	方向	機能
1	—	—	—
2	RXD	IN	受信データ
3	TXD	OUT	送信データ
4	DTR	OUT	データ端末レディ
5	GND	—	信号グラウンド
6	DSR	IN	データセットレディ
7	RTS	OUT	送信要求
8	CTS	IN	送信可
9	—	—	—

※プロトコルは、接続先による。

PCとの接続時のケーブル仕様



通信コマンド（制御コマンド）

コマンド一覧（モニタ → 血圧計）

コマンド	意味	応答
ST	測定開始	ACK/NAK
SB	測定停止	ACK/NAK
RB	血圧値データの送信要求	データ
RS	血圧計の状態の送信要求	データ
YSXXXXXX	年月日の設定	ACK/NAK
DSXXXXXX	時分秒の設定	ACK/NAK

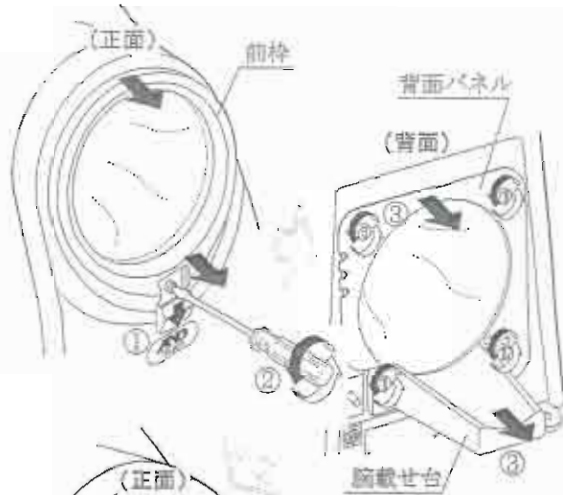
XXXXXXは、設定データ

※通信仕様については、販売店までお問い合わせください。

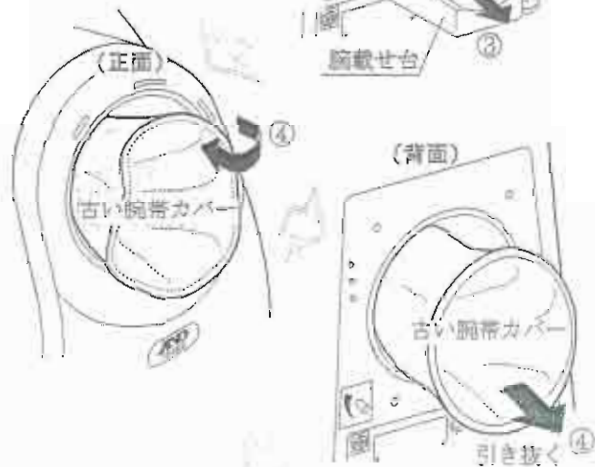
11. 保守点検

11-1 腕帯カバーの交換

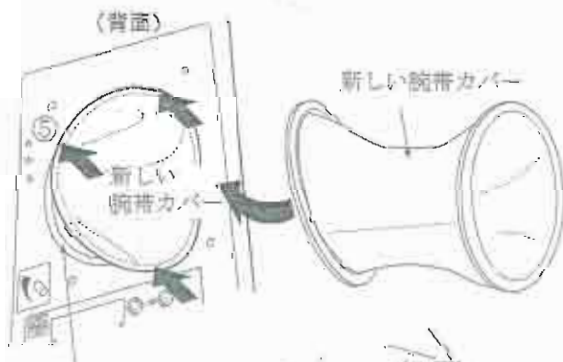
- ① 正面パネル前枠の下部にあるカバーを下にスライドさせて開けてください。
- ② マイナスドライバーを使い、中にあるネジを緩め前枠を外してください。
- ③ 背面パネルの4カ所のネジを外し腕載せ台、背面パネルを外してください。



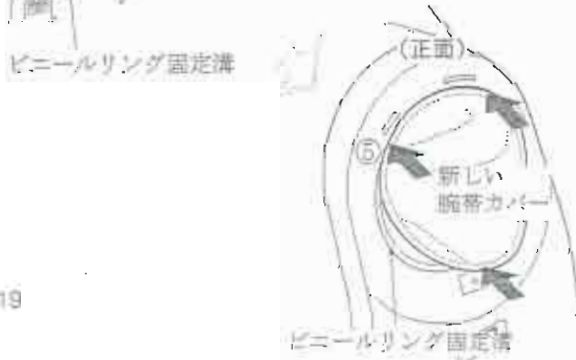
- ④ 前後のパネルにあるビニールリング固定溝から腕帯カバーを外してください。



- ⑤ 新しい腕帯カバーを腕帯に通し、ビニールリング固定溝にかぶせてください。



- ⑥ ビニールリング固定溝周辺のカバー布を整えて、外した時と逆の手順で前枠、背面パネルを取り付けてください。



※腕帯カバー（内布）は消耗品です。別途お求めください。

11-2 測定回数の確認

本器は血圧測定が何回行なわれたかチェックするカウント機能があります。利用頻度のチェックや定期的な清掃の目安に使用してください。カウントの数値は電源を切っても記憶されています。

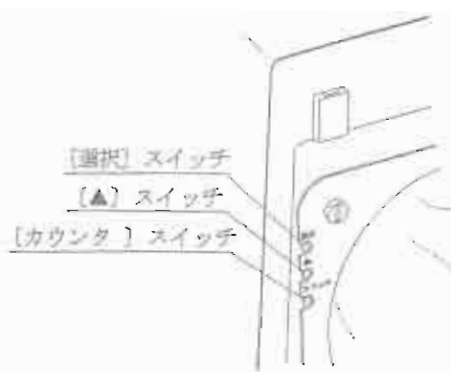
表示方法

【カウント】スイッチを押すと最高血圧、最低血圧表示部にカウントの数値を約5秒間表示します。

注意：【カウント】スイッチを押し続けるとリセットされます。

リセットの方法

【カウント】スイッチを約5秒以上押し続けるとカウントの数値をリセットして（ゼロにして）通常の表示に戻ります。



11-3 エラーコード

表示内容	エラー内容
PE	プリンタ用紙が無くなりました。新しいプリンタ用紙をセットしてください。
HU	プリンタヘッドが上がっています。レバーを倒し、プリンタ用紙をロックしてください。
Err	何らかの原因で測定できませんでした。「11-4 サービスを依頼する前に」を参照して再度測定してください。

エラーコード表示方法

【カウント】スイッチを押し、約5秒以内に【▲】スイッチを押すと、脈拍数表示部にエラーコード、最低血圧表示部にエラー回数を約5秒間表示します。

リセットの方法

「11-2 測定回数の確認」でのリセット方法と同じです。

エラーコード	エラー内容	エラーコード	エラー内容
E11	加圧時間が長すぎる	E43	信頼性のある脈が少ない場合
E12	加圧スピードが遅すぎる	E44	体動あり
E13	加圧時間が早すぎる	E45	最低血圧が決定できない
E21	定排速度が遅すぎる	E46	平均血圧が決定できない
E22	定排速度が早すぎる	E48	最高血圧が決定できない
E41	脈の数が多すぎる	E61	脈拍数が計算できない
E42	加圧不足	E63	血圧は決定したが値が不適當

11-4 サービスを依頼する前に

こんなときに	ここを確認	対処の仕方
電源スイッチをオンにしても何も表示しない	電源ケーブルが正しく接続されていますか？	電源ケーブルを正しく接続してください。
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズ（寸法 5x20mm、定格 250V、500mA タイムラグ）を交換してください。
加圧しない	腕帯カバーが張り過ぎていませんか？	「11-1 腕帯カバーの交換」を参照して腕帯カバーを付け直してください。
測定できない (Err 表示等)	正しい姿勢ですか？	腕を心臓と同じ高さにして安静にしてください。
	安静にしていますか？	腕を動かさないでください。
	_____	服が厚すぎると測定できません、腕の部分の服を脱いでください。
	_____	不整脈の方や脈の弱い方で測定できない場合があります。
プリントしない	プリンタ用紙が入っていますか？ (PE 表示)	「8. プリンタ用紙の装着方法」を参照して紙を交換してください。
	プリンタヘッドが上がっていませんか？ (HU 表示)	「8. プリンタ用紙の装着方法」を参照してレバーを倒してください。
	紙が曲がって紙詰まりを起こしていませんか？	「8. プリンタ用紙の装着方法」を参照して紙をセットしてください。
	印字の選択が合っていますか？	「9-2 印字の選択」を参照して印字方法を選択してください。
音声がない (V P のみ)	音声ボリュームが最小になっていませんか？	音声ボリュームを時計方向に回してください。
	ファンクションの設定を間違えていませんか？	「9-1 音声出力の選択」参照

11-5 アフターサービス

正常なご使用でこの期間内に万一故障した場合には保証書の記載に基づき「無償修理」をいたします。お買上の販売店または、最寄りの営業所にご相談ください。

修理規定

保証期間は納入日より12ヵ月です。

修理は、本器のみです。いかなる場合でも本器により発生した損害について、一切責任を負いかねます。

ご使用中万一故障した場合お買上の販売店または、最寄りの営業所へ修理を依頼してください。

ただし、下記の場合保証期間内でも有償になります。

1. 誤った取り扱いによる故障。
2. 製品の改造、あるいは不平等な修理により発生した故障。
3. 火災、地震、水害等の不可抗力および、異常電圧による故障。
4. 故障の原因が本器以外の場合。
5. 消耗品

なお、お申し付けの際は製品の型名と製造番号をお知らせくださるようお願いいたします。

別売品・消耗品

- ・専用架台..... TM-9325
- ・専用椅子..... TM-9312
- ・専用ガスバネ椅子（背もたれ椅子）..... TM-9315A
- ・プリンタ用紙（5巻入り）..... AX-PP147-S
- ・腕帯カバー..... AX-139003442-S

AND 株式会社 エー・アンド・デー

本社 〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル

製品に関するご質問・ご相談窓口

受付時間 AM9:00~PM6:00 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

本社

計量器・天びん・計測器・試験機	TEL. 03-5391-6126(直)	FAX. 03-5391-6129
メディカル機器・家庭用健康機器	TEL. 03-5391-6127(直)	FAX. 03-5391-6129
札幌出張所	TEL. 011-251-2753(代)	FAX. 011-251-2759
仙台出張所	TEL. 022-211-8051(代)	FAX. 022-211-8052
東京北営業所	TEL. 048-592-3111(代)	FAX. 048-592-3117
東京南営業所	TEL. 045-476-5231(代)	FAX. 045-476-5232
静岡出張所	TEL. 0545-64-5735(代)	FAX. 0545-64-6596
名古屋営業所	TEL. 052-701-5681(代)	FAX. 052-701-5683
大阪営業所	TEL. 06-6325-7325(代)	FAX. 06-6325-3168
広島営業所	TEL. 082-233-0611(代)	FAX. 082-233-7058
福岡営業所	TEL. 092-441-6715(代)	FAX. 092-411-2815

製品の技術問い合わせ・修理の受付窓口

受付時間 AM9:00~PM5:30 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

鴻巣工場FE部	〒365-0027	埼玉県鴻巣市上谷1771
技術問い合わせ	TEL. 048-543-9872(直)	FAX. 048-543-1110
修理の受付	TEL. 048-543-9878(直)	FAX. 048-543-1117
名古屋営業所FE課	〒465-0044	名古屋市名東区小井掘町402
	TEL. 052-701-5681(代)	FAX. 052-701-5683
大阪営業所FE課	〒533-0033	大阪市東淀川区東中島1-6-14
	TEL. 06-6325-0578(直)	FAX. 06-6325-3168
広島営業所FE課	〒733-0037	広島市西区西観音町9-7
	TEL. 082-233-0611(代)	FAX. 082-233-7058
福岡営業所FE課	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南3-6-7
	TEL. 092-441-6715(代)	FAX. 092-411-2815

- 電話番号、ファクシミリ番号は、2002年6月21日現在です。
- 電話番号、ファクシミリ番号は、予告なく変更される場合があります。
- *電話のかけまちがいにご注意ください。番号をよくお確かめの上、おかけくださるようお願いいたします。

